

2020.4.24

例年とくらべ勤務形態や授業の方法が大幅に変化し、本当にご苦勞をおかけしています。

社会情勢等の大きな変化に襲われている中、経済的に苦しい状況にある学生さんが周りにも増えているかと思います。こうした学生さんを取り残してはいけない、何とかサポートしたいと考え、三月初めから頭を痛めて居りましたが、ようやく二筋の明るい光が見えてきました。

**【飯村チャレンジ緊急奨学金新設】** 一つ目は経済的支援です。飯村チャレンジ奨学金のためにご支援いただいている光陽エンジニアリングの飯村会長にご相談したところ、毎年の給付奨学金（月3万円×12か月、15名）に加え、飯村チャレンジ緊急奨学金として、アルバイト等がなくなり、しかもオンライン講義を受講せざるを得ない中で、経済的に極めて苦しくなった学生に対し10万円の一時金を100名限度に支援して下さることになりました。来週月曜日に報道発表いたします。

**【学生貸与用ノートパソコン寄付】** 二つ目は、学生貸与用ノートパソコンの寄付です。TKCの角会長、飯塚名誉会長にご相談したところ、住んでいるところにパソコンがなく、ネット講義の受講に支障が出る学生用に、5月中旬までに70台以上のノートパソコンを現物寄付していただけることになりました。特に一年生は必修の『データサイエンス入門』でパソコンを使った演習が不可欠です。今回はEPUU講義用のiPad合計132台に次ぐご寄付です。ご存じないかもしれませんが、本学では合計320万円をこえる物品の購入は、国の定める入札制度に従わねばならず、購入を決めても夏前の納入すら危ぶまれる状態だということ、民間のフットワークの良さを生かした現物寄付という方法をご提案したところ、ご快諾いただきホッとしています。

いつも本学の学生のことを考え、毎年3C基金に多額のご寄付をいただいている、飯村会長、角会長、飯塚名誉会長には、今回も重ねて感謝申し上げます。どちらも準備ができれば学生支援課を通して学生に連絡する予定ですが、対象となる学生さんがいらっしゃったら、連絡を見落とさないよう伝えてあげてください。

なお、飯村チャレンジ緊急奨学金は日本人対象なので、同じく経済的に苦しい留学生に対しても、学内外からご寄付いただいた3C基金を原資として緊急支援をしたいと思っています。これも決まったら関係学生にはお知らせするつもりです。これを機会にみなさんの3C基金への理解が進み、一層充実した学生支援ができればと思っています。

また、もう一つ心配なのが学生さんのメンタル面のケアです。本学HPのコロナ関連サイトに、「学生なんでも相談窓口」の案内があります。気になる学生さんがいたら、こちらのこともお伝えください。

季節もよくなりGWの時期を迎えました。今年は制約の多い中ですが、新型コロナウイルスに負けないよう、きちんと食べてきちんと眠り、ぜひともいろいろな方法で友人や家族と笑い合い、安らいだ時間をお過ごしください。